

展示室 1d 美を纏う 朝長染織コレクションを中心に (前期展示)

2025年5月1日(木)から7月13日(日)

前期：5月1日(木) - 6月

◎印は通期展示

■印は通期展示、個人蔵

美を纏う - 美しいものを愛で、身に纏うことは誰もが憧れることではないでしょうか。

2020年、着物愛好家である朝長義子氏より鎌倉芳太郎、志村ふくみ、土屋順紀などの染織作家作品をご寄贈いただきました。

四季折々の豊かな自然の中から、あるいは物語の中から紡ぎ出された工芸作品を朝長コレクションを中心にをご紹介します。

作家名	生年-没年		作品名	制作年	技法、素材
あらかわとよぞう 荒川 豊蔵	1894-1985		しのぼたんこうごう 志野牡丹香合	1954頃	志野、陶器
			しのかにこうごう 志野蟹香合	1964	志野、陶器
			そめつけりゆうすいずちょうかくざら 染付流水図長角皿	1971頃	染付、磁器
			しのたげのこうごう 志野菊香合	1973	志野、陶器
	まぜとほないれ めいへきれき 黄瀬戸花入 銘露霞	1976	黄瀬戸、陶器		
かがみ こうぞう 各務 鑛三	1896-1985		か き めいしゅんよう 花器 銘春陽	1972	グラヴェール、宙吹き、クリスタルガラス
			さきもん か き 笹文花器	1972	グラヴェール、宙吹き、クリスタルガラス
こやま ふじお 小山 富士夫	1900-1975		そうあかえふういろえはなちやわん 宋赤絵風色絵花茶碗	1969	色絵、陶器
つかもと かいじ 塚本 快示	1912-1990		はくじちょうこくもんおおざら 白瓷鳥刻文大皿	1978	白瓷、磁器
むねひろ りきぞう 宗廣 力三	1914-1989	◎	し きくじょうつむぎきれじ 初期郡上紬裂地	1955-1970頃	緋、紬、絹
			あいじしま まるもんようかすりきもの 藍地縞に丸文様緋着物	1985	緋、紬、絹
			きじてわくもんようかすりきもの どぼんこ染黄地立涌文様緋着物	1983	どぼんこ染め、緋、紬、絹
かとう たくお 加藤 卓男	1917-2005		さんさいか き めいそうよう 三彩花器 銘爽容	1990	三彩、陶器
しむら 志村 ふくみ	1924 -		つむぎべにこうしきもの 紬紅格子着物	不詳	紬、緋、絹
いわた ひさとし 岩田 久利	1925-1994		はくぎよくりゅうえいもんつぼ 白砥流影文壺	1989	宙吹き、色ガラス
すずき おさむ 鈴木 蔵	1934-	■	しの こうろ 志野香炉	2020	志野、陶器
かとう こうぞう 加藤 孝造	1935-2023	◎	しの とうぼこ 志野陶笛	1980	志野、陶器
		◎	せ とくろちやわん 瀬戸黒茶碗	2017	瀬戸黒、陶器
よしだ よしひこ 吉田 喜彦	1936 -	■	しの ふたもの 志野蓋物	1994	志野、陶器
とよば せいや 豊場 惺也	1942-	◎	き せとほないけ 黄瀬戸花生	不詳	黄瀬戸、陶器
くじょうつむぎ むねひろようすけ 郡上紬 (宗廣陽助)	1942-		あいじしま かすりきもの 藍地縞やたら緋着物	1980-2000	紬、緋、絹
つちや よしのり 土屋 順紀	1954-		つむぎきやくたけわか 紬着尺「竹若」	1988	紬、緋、絹
		■	つむぎきもの いまわか 紬着物「今若」	1990	紬、緋、絹
			つむぎきもの じつげつ 紬着物「日月」	1991	紬、緋、絹
		■	つむぎきれじ つばき 紬裂地「椿」	1991	紬、緋、絹
		■	つむぎきれじ あつもり 紬裂地「敦盛」	1992	紬、緋、絹
		■	つむぎきれじ しか ね 紬裂地「鹿の音」	1992	紬、緋、絹
		■	つむぎきれじ つる は 紬裂地「鶴の羽」	1992	紬、緋、絹
			つむぎきもの はなご 紬着物「花子」	1992	紬、緋、絹
		■	すずしきれじ すいげつ 生絹裂地「水月」	1995	緋、絹
		■	すずしきれじ あゆ せ 生絹裂地「鮎の瀬」	1996	緋、絹
		■	つむぎきれじ すいろ 紬裂地「翠露」	1997	紬、緋、絹
	つむぎきもの おうせい 紬着物「鶯声」	2009	紬、緋、絹		
■	もんしゅきれじ しゅうしょう 紋紗裂地「秋粧」	2011	紋紗、緋、絹		
たなべ ちくうんまいしょうちく 四代 田辺 竹雲斎(小竹)	1973-		つながり一現在心・過去心・未来心	2013	黒竹、真竹